

平野^{ひらの}社は北野より乾にあり、祭れる神四座なり、源平高階大江此四姓の氏神^{うちがみ}なり。第一^{いまき}今木神〔日本武尊、源氏〕第

二^{くどう}久度神〔仲哀天皇、平氏〕第三^{ふるあきの}古開神〔仁德天皇、高階氏〕第四^{ひめの}比米神〔天照大神、大江氏〕

県社は天穗日命^{あまのほのひのみこと}〔中原、清原、菅原、秋篠〕四姓の氏神なり、やしろは桓武天皇^{くわんむてんわう}延暦年中に建立せり。御くらゐは正

一位、清和天皇^{せいわてんわう}貞観六年七月十日にさづけ奉れり。例祭は九月上の申の日なり。

拾遺 生しげれひらの、京のあや杉よこき紫に立かさぬべく 元 輔

続古今 難波津^{なにはづ}に冬ごもりせし花なれや平野^{ひらの}の松にふれる白雪 家 隆

新千載 ちはやふる平野^{ひらの}の松もけふこそは花咲春のためしなるらめ 読 人 し ら ず

紙屋川^{かいのかは}といふは、むかし此川のほとりにて紙をすき商ふなり。

大嘗会^{だいぜうゑ}の御とき、荒見川^{あらみかは}の祓とは、平野の橋より少し北にて行るゝなり。荒見川は紙屋川^{かいのかは}の別名なり、又仁和川^{にんわ}ともい

ふ。むかしは仁和寺広大にして、東は紙屋川のはしまで寺院ひまなく造りつゞけ侍るよしいひ伝ふ。